

# すごい先生が ASOにはいる!

学生の目線に立った  
わかりやすい授業内容と  
繰り返し  
面接指導に定評あり



## 小原 秀史 先生

KOHARA HIDEFUMI  
(政治経済/日本史/数的推理)



大学生向けの公務員専門学校で法律科目を専門に教えたキャリアを持つ先生。苦手な学生が多い政治経済の授業では世間で話題になっている旬のニュースをタイムリーで紹介するなど、難しい問題をいかに身近に感じられるか、毎回、創意工夫を凝らして教えてくれます。

「学生と知識を共有できる喜びもありますが、彼らの人生が劇的に変わる瞬間に立ち会えるのが一番の幸せ」

と笑顔で話す先生は、学生の個性に応じたきめ細やかな指導が信条。二次の面接指導では、志望動機を明らかにするために学生本人すら気づかなかった本質を引き出し、自分の言葉で話ができるまで根気強く導いてくれます。公務員としての将来を見据えた厳しくも熱のこもった指導に定評のある小原先生は、学生から尊敬され、慕われる存在です。

## 三藤 宏光 先生

MITOH HIROMITSU  
(数学/数的推理/判断推理)



学習塾での長年の講師経験から、基礎からわかりやすい授業で好評の先生。担当科目も、数学や数的推理といった理系科目だけでなく、政治や日本史など幅広い分野におよび、放課後も学生からの質問が後を絶ちません。また、学生が理解できるまで徹底的に付き合うだけでなく、勉強以外のことにも親身になって相談ののってくれるので、学生からの信頼も厚く頼りにされています。

面接練習も、時には厳しく、時にはやさしく、学生自身が納得のいくまで練習に付き合い、自信を持って本番に臨むことができています。また「面接は人物試験なので、普段からの行動が大事」と、清掃や挨拶など日々の生活習慣を見直す指導に力を入れているそうです。「やるからには、全力で取り組んでほしい。私たちも全力でサポートします」と語る頼りになる先生です。

時には厳しく  
時には優しく  
頼れる学生のパートナー



## 松岡 秀美 先生

MATSUOKA HIDEMI  
(数的推理/判断推理/数学)



指導歴20年のベテランとして、クラスの団結力と合格率は比例すると考える先生が最重要視しているのが、絆作り。学生の性格や学習態度、成績などあらゆる観点から席を決めることで、学生同士に新たな“化学反応”が生まれることがあるのだとか。勉強を教え合ったり、面接の練習をし合ったりと互いにフォローし合う中で結果的に団結が深まります。また、挫折しかけた学生が面倒見の良い隣の席の学

生に励まされて、一緒に合格を勝ち取ったという多くの成功体験をお持ちの松岡先生。「環境さえ整えば、人は必ず変わる。本人のやる気と仲間の支えがあれば大丈夫です」。

そんな先生は、学生のマドンナ的存在。「卒業生は宝」と微笑む先生の卒業生とのつながりは深く、卒業生自ら面接練習を申し出てくれるなど、卒業後もその絆は健在です。

先生を慕う卒業生も  
面接練習の相手を志願  
学生を支える一員に  
卒業後も続くASOの絆



## 藤田 理 先生

FUJITA OSAMU  
(政治経済/英語/地理/地学)



「学生たちの倍以上の人生を歩んだ者として、教師以前に大人として手本になるような存在でありたい。良いことばかりではなく、失敗や挫折したこともオープンにして、人生何とかなる、やればできる!ということを伝えたいです!」と語る藤田先生。

授業中に生徒の「わかった!」という表情や空気感に日々やりがいを感じつつ、何よりも、笑顔と共に合格の報告くれた時に喜びを感じているとの

こと。教科では、かみ砕いた表現や例え話、世の中の動きを織り交ぜるなど、とにかくわかりやすい授業がモットーの先生ですが「普段は、ほどよい距離感をもって接しやすい雰囲気づくりを心掛けています。ただし、ダメなものはダメというけじめも大切にしています」と人生の先輩として、学生たちを合格へと力強く導いています。

とにかくわかりやすい  
授業をモットーに合格へと  
力強く導く、人生の先輩



## 前田 智成 先生

MAEDA TOMONARI  
(日本史/地理/政治)



人物や時代ごとのキーワードを時間軸でつなげ、日本史の流れ全体をイメージさせながら教えてくれる先生の授業。「この人といえば?」と関連するワードを繰り返し復習させるほか、地理や政治など他科目でも応用できるように、広い視野で一コマ一コマの授業を真剣に、面白く楽しく展開してくれます。

教科指導以外では、「明るい挨拶や、人の話を素直に聞く力が面接試験に受かるためにも大切である」と常に話し

ています。挫折しかけている学生には、さりげなく「どげんかね?」と声をかけ、学生が離れていかに見守ってしてくれます。そんな優しい言葉に救われた学生が自信を取り戻し、勉強を再開したことで、クラス全体の士気もグッと上がったとか。「君たちも僕らもASOを選んで来た。これも何かの縁だから一人で抱え込むなよ!」いつどんな時も、先生は学生のことを考えています。

日本史への造詣が深く  
実体験を時折語りながら  
学生思いの指導を心掛ける





モットーは学生第一  
学生の気持ちに寄り添いながら  
ひたむきに合格へと導く伴走者



西 直正 先生  
NISHI NAOMASA  
(政治経済)

公務員受験指導歴約15年。「みんな“自分は公務員になれるのだろうか”と不安を感じながら毎日勉強している。そんな学生たちの気持ちに寄り添い、自信を与えられる存在でありたい」。そう語る西先生のモットーは、学生第一です。クラス担任でもある先生は「努力は報われる」と信じて勉強するように指導し、実際に本人の努力が実って「先生、合格しました!」と報告してくれた時や、壁にぶつかり悩んでいた学生が課題

を解決できた瞬間の笑顔に大きなやりがいや喜びを感じるそうです。また、公務員を目指す者としての行動基準として、常に「公務員なら許されるかどうか」を自問するよう伝えているのだとか。これからも、学生の目標である「公務員合格」に役立ち、一人でも多くの合格を実現したい。そのために必要な知識やスキルを磨いていきたいとひたむきに取り組んでいる、心強い伴走者のような先生です。

学生たちの話にしっかり耳を傾け  
希望に向けて一緒に頑張る  
「よき助言者」



岩里 翔太 先生  
IWASATO SHOTA  
(数的推理)

学生たちの「よき助言者」でありたいと語る岩里先生が大切にしているのは、「常に学生たちの話にしっかり耳を傾けること。学生の希望を確認し、それに基づいて公務員試験の受験先を考えるよう努めること」です。そのため学生が遠慮なく相談や発言ができるよう、先生は意識して聞く側に徹しているとのこと。また、否定的な言葉をなるべく使わないように心掛け「一緒に受験に向けて頑張ろう!」という

気持ちを伝え、目標を共有するように接しているそうです。担当している数的推理の授業で「説明がわかりやすかった」、「苦手意識がなくなった」などの声を聞くとやりがいや喜びを感じるという先生。今後は「指導科目を増やし、学生に対する学習面のフォローを手厚くしたり、よりの確な受験指導をできるようにしたい」と静かに燃えています。

夢の実現も学校生活も全力サポート  
みんなをやさしく見守る  
「心の拠り所」



柿内 勇作 先生  
KAKIUCHI YUSAKU  
(広報/学校運営)

オープンキャンパスや各種イベント、講座関連の企画運営などを担当している柿内先生。仕事柄、高校生と接する機会も多く、進路に迷っている高校生には無理に進学をすすめずに、将来やりたいことを自分自身で見つけるヒントになるようなアドバイスを心がけているとのこと。その上で「公務員を目指す!」と決めた学生には万全の学習環境を整えるために全力でサポートをしています。だからこそ、入学前から接

していた学生が努力の結果、自分自身の夢を叶えた姿を見た時にはとても感慨深く、大きなやりがいや喜びを感じるそうです。学生に勉強を教えることはできないけれど、学校生活における悩みや不安を少しでも解決していけるように、日々の声掛けを通して何でも安心して相談できる「心の拠り所」的な存在でありたい。そう願う先生は今日もみんなをやさしく見守り続けています。

「教える」のではなく「一緒に」勉強する  
学生の視点に立った  
楽しい授業で合格へ導く



津田 亮介 先生  
TSUDA RYOSUKE  
(地理/文章理解)

常に学生の視点に立ち、学生が身近に感じる存在でありたいと語る津田先生。ただ一方的に教えるのではなく、授業内でも積極的に学生と関わり、「一緒に」勉強する空間を作り上げます。そんな先生の授業は、面白い具体例や小ネタがちりばめられており、「楽しくてわかりやすい!」と学生から絶大な支持を受けています。先生自身も中学、高校と通っていた学習塾で「勉強っ



て楽しい!」と思えるようになった瞬間があり、勉強に対して苦手意識のある学生のモチベーションを少しでも上げることが自分の役割だと話します。生活指導も、それぞれの学生に合った指導を心掛けています。「多くの学生がいれば性格も考え方も様々。真っ向から否定するのではなく、学生の意見を尊重し、一緒にやり方を考えたい」。津田先生は常に皆さんの立場と一緒に考えてくれる、そんな身近な先生です。

学生のちょっとしたシグナルも  
逃さない密なコミュニケーションが  
学力も心も育む



坪井 巨樹 先生  
TSUBOI NAOKI  
(文章理解/日本史/判断推理/SPI)

「授業は準備が大事。学生がわかりにくそうところを想像しながら計画し、実際の授業での反応を見ながら修正します」“想像”も“修正”も、学習塾での指導経験が活かされているそう。「公務員試験は、小手先のテクニックでどうにかなるほど甘くありません」と語る先生が、学習面で重視するのは基本の徹底。しっかりとした基礎の上に、確かな応用力を積み上げられるような指導を心掛けています。



指導におけるモットーは「コミュニケーションを密にする」こと。言葉を変えずにコミュニケーションではないと考え、学生のちょっとしたシグナルも見逃さないよう、常にアンテナを張ってくれています。「ASOにいる時間は人生の中でも大事な選択をする時期。これからも悩んでいる学生に寄り添い、彼らの声に耳を傾けていきたい」と語る先生は、学生にとって非常に頼もしい存在です。

学生自身に目標設定させ  
解決力を養う。合格の先まで  
見据えた人間力の向上も重視



世永 大一郎 先生  
YONAGA DAIICHIRO  
(数的推理/数学)

「公務員試験の知識問題のほとんどは中学・高校の内容です。そのため“復習”である点を意識し、必要以上に教え込まないよう心掛けています」と語る先生のスタンスには、高校や塾で指導していた経験が活かされています。先生がとにかく大切にしているのは、「考えさせる」ということ。科目担当としては、授業で学ぶこと以上に学生自身で考え、問題解決のための知識や情報を身につけさせることを重視していま



す。教科以外でも、「社会や官庁・自治体は指示をされて動くような人を求めている。求められていることを理解し、自分から課題に取り組み解決できる人材になってほしい」との想いから、物事を学生自身に決めさせ当事者意識を持たせるようにしているのだとか。ASOでの時間は社会人になるための準備期間と考える先生は、合格の先まで見据え、人間力向上までサポートしてくれる、心強い味方です。